

授業展開例⑦ 「クレジットカードと契約」

※Web版読本ステージ1を活用した授業提案

● 学習指導過程

時間	主な学習活動	指導上の留意点	教材・資料
導入 5分	1. 前時の学習を振り返り、本時のねらいを確認する。 オープニングを見て、Webの使い方を確認する。	・ 前時の話し合いを思い出させる。 (クレジット) 契約の仕組みを理解し、契約のルールを守ることの大切さに気付く。	ワークシート⑦
展開Ⅰ 25分	2. Web版読本で「クレジットカードを作成する場面」を疑似体験する。 3. Web版読本で「クレジットカードの仕組み」を視聴する。	・ 契約の基礎知識を伝える。 ・ 前時の授業から、クレジットカードを利用する機会が増えていることを共感させ、クレジットカードのメリットを確認させる。 ・ クレジットカードが発行されるまでの流れとクレジットカードの仕組みについて理解させる。 ・ クレジットカードを利用する場合、クレジット会社に借金をして商品等を購入することになるため、経済的に信用のある人だけがクレジットカードを持てることを伝える。 ・ 三者間契約の仕組みを説明し、生徒の理解度を確認する。	ワークシート⑦ 前時で使用したワークシート Web項目 ①クレジットカードの作成疑似体験 ②契約の基礎知識と販売方法の多様化 ③カードの種類と支払方法 ④クレジットカードのメリット Web項目 ⑤クレジットカードの仕組み ワークシート⑦ ・ 消費者、販売店、クレジット会社のフリップ
展開Ⅱ 15分	4. Web版読本で「クレジットカード〇×クイズ」に挑戦する。 5. Web版読本で「クレジットカード申込書」を確認する。	・ クイズは、何となく〇、×で答えるのではなく、「会員規約」の画面から情報を集め、理由も述べて答えるように指示する。 ・ 契約＝会員規約の内容を守ることの大切さについて理解させる。 ・ クレジットカードの申込用紙を見せ、氏名や電話番号のほかにも、収入や借入れなどの個人情報を記入する項目があること、正しい内容を記入しなければならないことを確認させる。	Web項目 ⑥クレジットカード〇×クイズ ワークシート⑦ クレジットカードの申込書（本物） Web項目 クレジットカード申込書
まとめ 5分	6. 学習内容を振り返り、気付いたことをワークシートに記入する。	・ 本時の学習内容を振り返り、次週へのつなぎとして、「消費者」だけでなく、「販売店」「クレジット会社」のメリットについて考えさせる。	ワークシート⑦

ワークシート解答例

※生徒用及び解答付ワークシート（エクセル）は Web サイトからダウンロードできます。先生用ページ「教材紹介」からご覧ください。

ワークシート⑦ 「クレジットカードと契約」

年 組 名

ねらい (**クレジット**) 契約の仕組みを理解し、契約のルールを守ることの大切さに気付く。

1 当てはまる用語を () に埋めましょう。

契約とは、法的な (**拘束力**) が発生する約束事のことである。

契約は、(**申し込み**) と (**承諾**) というお互いの (**意思表示**) が合致した時点で成立する。

契約の方式は自由で、(**口頭**) でも成立する。

2 どんな状況でクレジットカードを使うか考え、なぜクレジットカードを使うと便利なのか、理由を書きましょう。

解答例

- ・ (**現金**) を持っていなくても買い物ができる。
- ・ (**分割して**) 支払うことができる。
- ・ (**後で**) 支払うことができる。
- ・ (**海外**) でも買い物ができる。

3 当てはまる用語を () に埋めましょう。

クレジットカードが発行されるまで

クレジットカードの仕組み

4 クレジットカード〇×クイズのヒントを会員規約から探して、理由とともに答えましょう。

第1問：収入があればだれでもクレジットカードを持つことができる。 答え (×)

理由：クレジットカードの入会申請をした個人のうち、クレジットカード会社が入会を認めた信用のある人しかクレジットカードを持つことができないから。

第2問：クレジットカードの所有権は、クレジットカード会社にある。 答え (○)

理由：「クレジットカードの所有権はクレジットカード会社にある」、「会員に貸与する」と規約に書かれているから。

第3問：暗証番号は4桁の数字であれば何でも構わない。 答え (×)

理由：暗証番号は他人に推測されないような数字を設定して、だれにも教えてはいけないと規約で決まっているから。

5 この時間を振り返り、意見交換をしましょう。

設問例Ⅰ この時間を振り返り、どのような活動をしましたか？

- ・クレジットカードでの買い物は三者間契約で、クレジットカード会社に借金をして商品を買う仕組みであることが理解できた。
- ・クレジットカードを使って買い物をする時も、契約のルールを守る必要があることを学んだ。

設問例Ⅱ 活動を通じて、気づいたことや、自分の考えが深まったことは何ですか？

- ・クレジットカードは後払いできるから楽だと思っていたが、クレジットカード会社に借金をして商品を購入する仕組みだと知った。クレジットカードの仕組みを理解しないと、借金が返せなくなったり、トラブルに巻き込まれたりする。
- ・クレジットカードの所有権は自分にあると思っていた。「クレジットカードはクレジットカード会社からの借りものだ」という意識を持ち、適切に管理しなければならない。
- ・普段は、自分がひと月にいくら使っているか意識していない。クレジットカードを使うためには、計画的にお金の管理ができるようにならないといけない。

設問例Ⅲ 活動に向けて、調べたいと思ったこと、掘り下げたいことは何ですか？

- ・大学生の兄は、クレジットカードを出さないと、スマホをタッチするだけで簡単に買い物している。自分も大学生になったら使ってみたくて、どのような仕組みになっているのか、知りたい。
- ・近所のスーパーが「クレジットカードで支払うとポイントが貯まってお得」と勧めていた。お店側のメリットは何か。野菜や肉はいつもそのお店で買っているので、本当に得するのか知りたい。

WEB 読本 全員で一緒にオープニングを見て、Web版読本の使い方を確認します。

付録のフリップ（消費者、販売店）を黒板に張って契約の基礎知識（二者間契約）の説明をします。後半、三者間契約との違いを強調するのに効果的です。

WEB 読本 ④クレジットカードのメリットまで視聴するように指示します。2～3人で1台のパソコンを使い、話し合いながらワークシートを埋めていくのも効果的です。

WEB 読本 ⑤クレジットカードの仕組みまで視聴し、ワークシートに記入するよう指示します。

黒板に張ってあるフリップ（消費者、販売店）にクレジットカード会社を追加し、三者間契約の仕組みを再度説明します。フリップを使うと短時間でも何度も確認することができ、契約の基礎知識が身に付きます。

WEB 読本 ⑥クレジットカード〇×クイズに挑戦し、ワークシートに記入するよう指示します。

「大人になる」とは、「一人で有効な契約ができる」ことであることに気付かせ、会員規約の内容をよく理解してから、慎重に申し込むように伝えます。

クレジットカードに対して恐怖心を与えるのではなく、賢く使えば便利なものであること、興味関心を持たせることが大切です。

WEB 読本 クレジットカード申込書で記入項目を確認するよう指示します。



考えるポイントを習熟度別に用意しました。設問例Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの考え方の違いについては、P25を参照してください。